

伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ報告書

令和6年6月

目次

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて	2
2. 市民意見	8
2 - 1. 意見の分類	9
2 - 2 ～ 2 - 3. 第1ラウンド	11
2 - 4 ～ 2 - 5. 第2,3ラウンド	20
3. 参加者アンケートの結果	36
3 - 1. 第1回	37
3 - 2. 第2回	41
3 - 3. 第3回	45
4. 当日の様子	51

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1－1. 開催の背景と目的

開催の背景

- 伊勢崎市では、令和7年度を始期とする第3次伊勢崎市総合計画の策定を進めています。
- 第3次伊勢崎市総合計画の策定においては、下記2点が重要であることを踏まえ、計画策定の段階で市民に参画していただくため、「伊勢崎市まちづくり市民ワークショップ」を開催しました。
 1. まちづくりに意欲がある市民または市と関わりがある立場の建設的な意見を取り入れること。
 2. 計画の策定段階から市民が参画し、まちづくりについて主体的に検討していただくこと。

開催の目的

- 伊勢崎市民等が抱く、市の魅力や、将来の市に対する思いや願いを、他の参加者との交流・意見交換を通じて挙げてもらう場を設定し、市民が主体的に検討した上で、総合計画の前期アクションプランの策定に繋げることを目的としています。

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1－2. 開催概要

伊勢崎市まちづくり市民ワークショップの開催概要

■ 当日の開催概要は下表のとおりです。

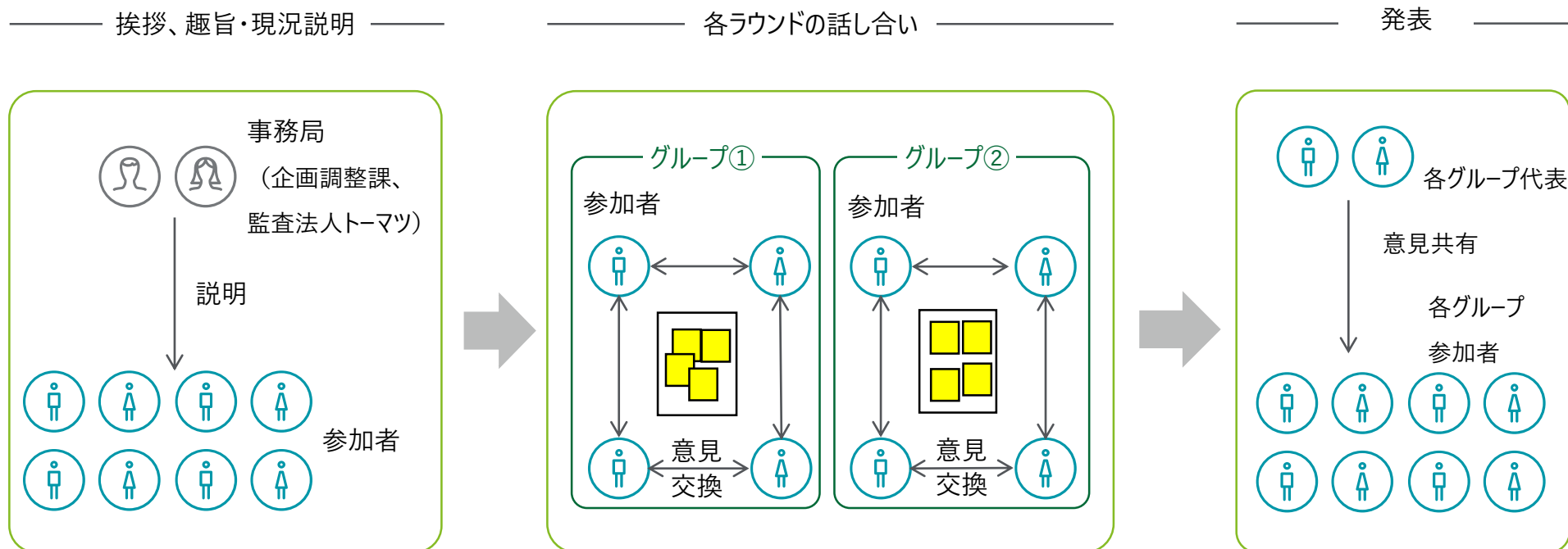
項目	概要
開催日及びメインテーマ	第1回：令和6年4月14日（日）：子育て・教育分野、健康・福祉分野 第2回：令和6年4月21日（日）：まちづくり分野、安心安全分野、環境分野 第3回：令和6年5月12日（日）：産業・観光・文化分野、共生・共創・行財政分野
開催時間	14:00～16:30
開催場所	伊勢崎市役所
開催方法	ワールドカフェ形式
対象者	18歳以上の市内在住の方
参加者数	第1回：23名 第2回：19名 第3回：20名
内容	・ 長期ビジョン（基本構想）で定めた7つの政策分野を3回に分けて、各回それぞれのメインテーマに沿った話し合いを行う ・ 自分の身の周りであった経験や思いを踏まえながら、「伊勢崎市の強み・魅力、伊勢崎市の弱み・課題」や「理想の伊勢崎市のためにできること」、「理想の伊勢崎市のための『それぞれの役割』」の3つのテーマについてグループに分かれて話し合う ・ 話し合い中に出た意見は、模造紙を使用して1テーマ1枚ずつ模造紙に記録した

1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-3. 実施方法

ワークショップ実施の方法

- 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップは令和6年4月～5月にかけて伊勢崎市役所において、ワールドカフェ形式で実施しました。
- ワールドカフェ形式は「グループで自由に意見を出し合い、それを他の人にも共有する」ということを目的としています。
- 話し合いの場面では、5 グループに分けて話し合いを行いました。
- 話し合いの最中に出た意見は、付せんを用いて模造紙に記録することにより参加者同士で意見を共有しました。



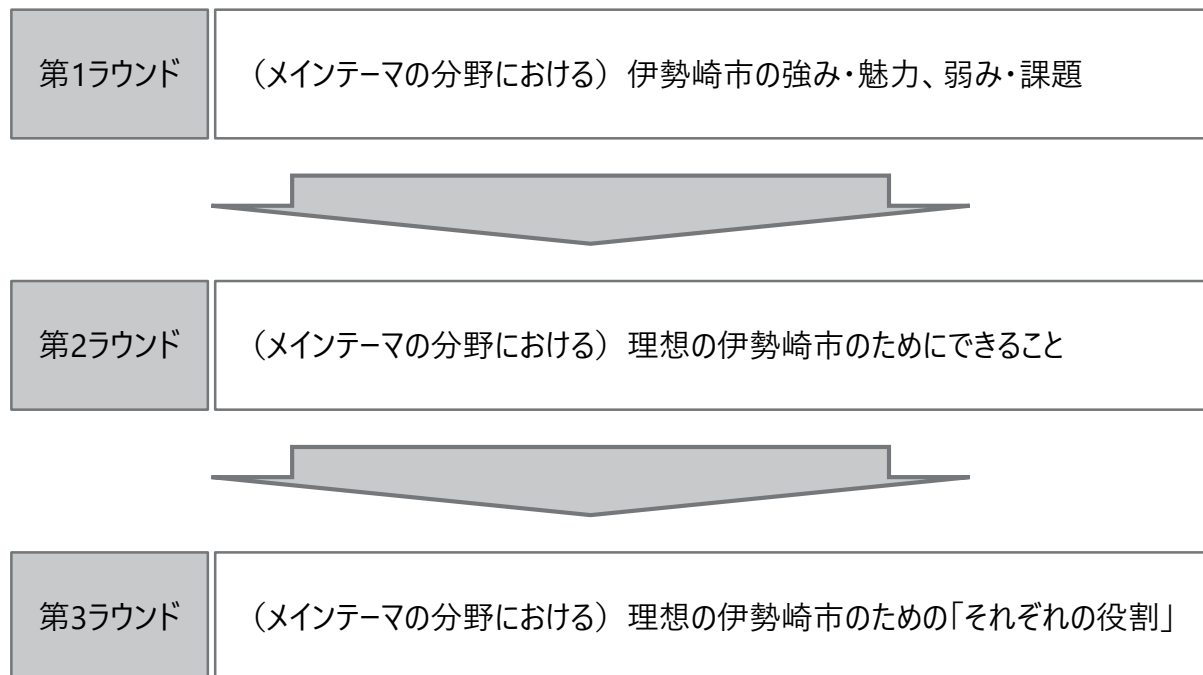
1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1-4. 当日のスケジュール

当日の流れ

- 本市の人口・財政状況や各分野の市民アンケートの結果などの説明、話し合いの進め方の説明を踏まえ、3ラウンドにわたって、ラウンドごとに異なるテーマについて話し合いました。
- 第1ラウンドでは、各分野における伊勢崎市の強み・魅力や弱み・課題など伊勢崎市の現状について、皆さんの経験に基づく伊勢崎市の現状を発言していただき、他の参加者に共有していただきました。
- 第2、3ラウンドでは、第1ラウンドを踏まえて、各分野においてどのような取組が必要かについて、皆さん自身の経験や、家族や友人等の周囲の方々の経験を基に発言していただき、他の参加者に共有していただきました。

当日の流れ



メインテーマ



1. 伊勢崎市まちづくり市民ワークショップについて

1－4. 当日のスケジュール

全体スケジュール

■ 当日の全体スケジュールは下表のとおりです。

時間	項目	内容	担当
14：00～	開会の挨拶	参加者への謝辞、開催の挨拶	伊勢崎市
14：03～	趣旨・計画策定について説明	ワークショップの趣旨や総合計画について説明	監査法人トーマツ
14：18～	伊勢崎市の概要、ワークショップの進め方について説明	市の財政や人口やワークショップの進め方の説明	監査法人トーマツ
14：23～	自己紹介、話し合い（第1ラウンド）	グループの中で自己紹介、テーマに沿った話し合い	参加者
15：08～	休憩	—	—
15：18～	話し合い（第2ラウンド）	テーマに沿った話し合い	参加者
15：43～	話し合い（第3ラウンド）	テーマに沿った話し合い	参加者
16：08～	ワークショップの振り返り	3つのラウンドを通した話し合いの振り返り	参加者
16：15～	発表	話し合いの結果を会場全体で共有	参加者
16：25～	閉会の挨拶	参加者への謝辞、閉会の挨拶	伊勢崎市

2. 市民意見

2. 市民意見

2-1. 意見の分類

意見の分類

- 第1回から第3回までのワークショップで出された第1ラウンドと第2,3ラウンドの意見を、長期ビジョン（基本構想）で定めた7つの政策分野に沿って分類しました。
- 各ラウンドについて、政策分野ごとに意見の数を集計しました。

将来ビジョン	政策	政策のゴール
えがお咲く未来へ 持続可能な共生都市 いせさき	子育て・教育	未来の担い手が育ち、全ての人が成長し続けられるまち
	健康・福祉	誰もが健康で互いに支え合いながら生き生きと暮らせるまち
	産業・観光・文化	経済の好循環が生まれ、活気にあふれ人が集えるまち
	まちづくり	住環境と自然環境が調和した、心地良い空間で暮らせるまち
	安心安全	1人ひとりが日頃から安全を意識し、安心して暮らせるまち
	環境	あらゆる活動で環境に配慮し、1人ひとりが脱炭素社会や循環型社会の実現に向けて行動できるまち
	共生・共創・行財政	互いに認め合い、共に創る、未来に向かって持続発展できるまち

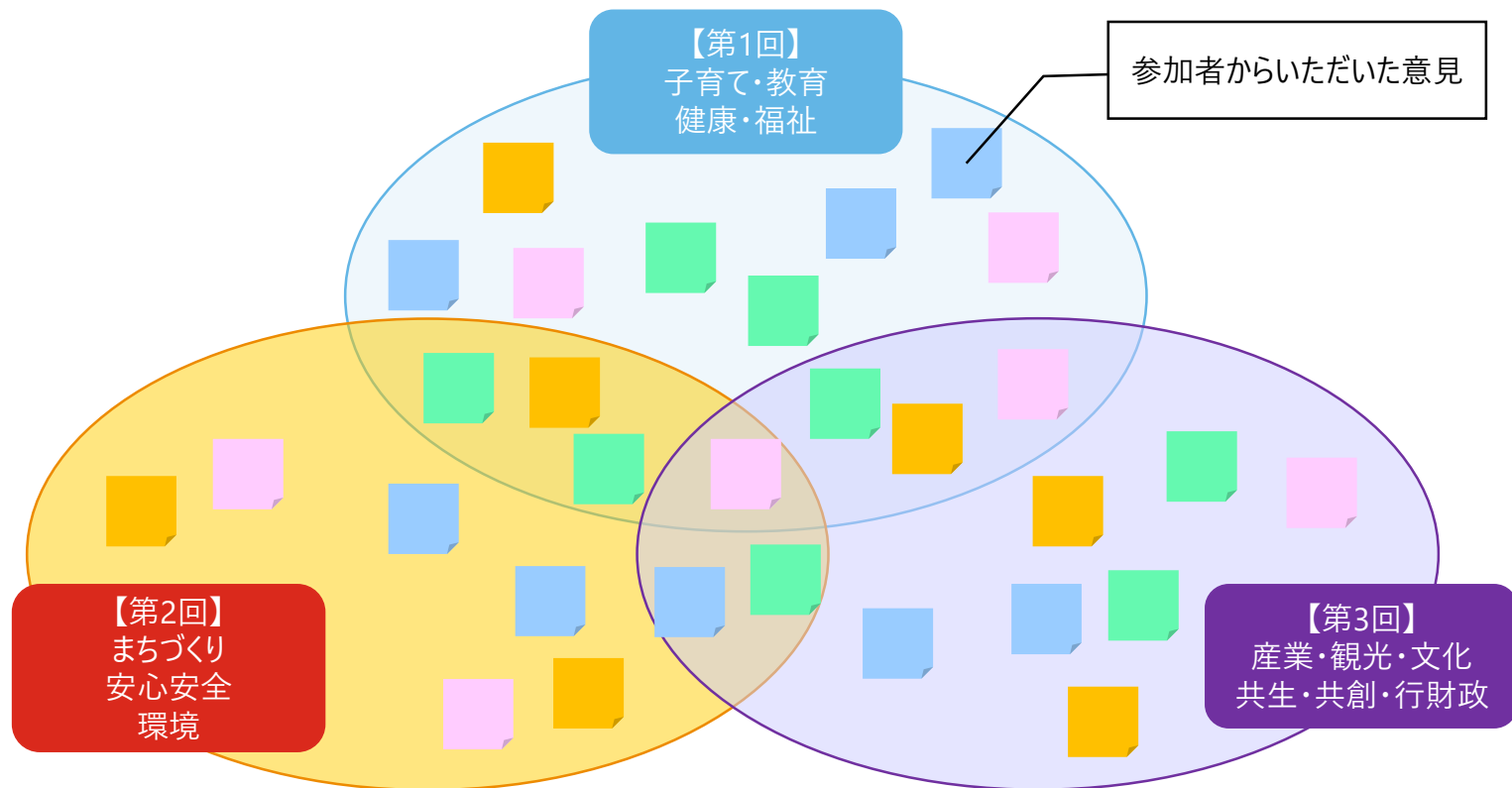


2. 市民意見

2-1. 意見の分類

意見の分類

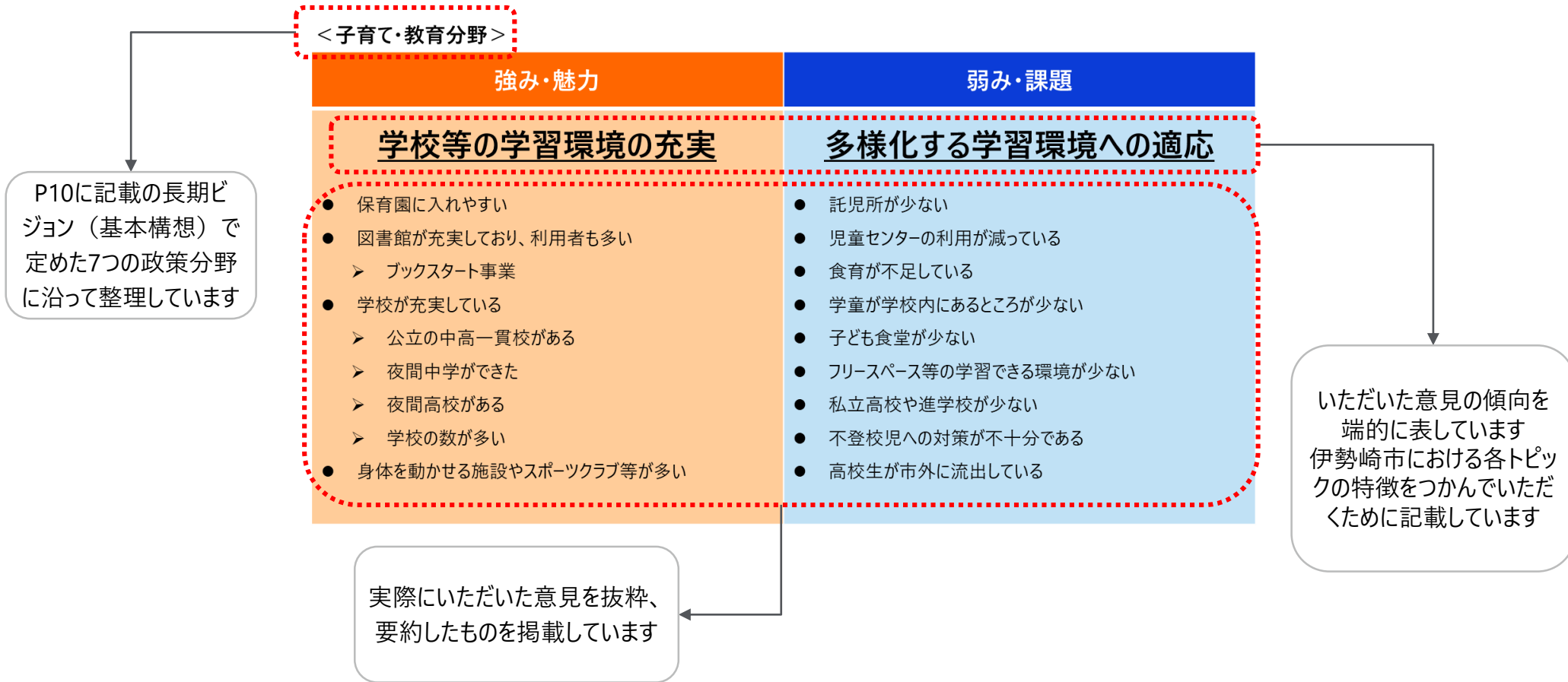
- 各回においては、メインテーマで取り扱う政策分野を絞ってはいますが、参加者からの意見はメインテーマで取り扱う政策分野以外の分野も多くいただいております、分野横断的に取り組む必要性についての意見もありました。
- それらの意見を踏まえて、報告書においては、各回でどのような意見があったのかについては言及せず、総じて、各分野においてどのような取組が求められているかを整理しています。



2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

市民意見をまとめたスライドの見方



2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

第1ラウンドで出された意見

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

<子育て・教育分野>

強み・魅力

学校等の学習環境の充実

- 保育園に入れやすい
- 図書館が充実しており、利用者も多い
 - ブックスタート事業
- 学校が充実している
 - 公立の中高一貫校がある
 - 夜間中学ができた
 - 夜間高校がある
 - 学校の数が多い
- 身体を動かせる施設やスポーツクラブ等が多い

弱み・課題

多様化する学習環境への適応

- 託児所が少ない
- 児童センターの利用が減っている
- 食育が不足している
- 学童が学校内にあるところが少ない
- 子ども食堂が少ない
- フリースペース等の学習できる環境が少ない
- 私立高校や進学校が少ない
- 不登校児への対策が不十分である
- 高校生が市外に流出している

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

第1ラウンドで出された意見

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

<健康・福祉分野>

強み・魅力

医療・福祉施設の充実

- 医療体制が充実している
 - 診療所・総合病院が多い
 - 病院の診療科が充実している
 - 検診・人間ドックが充実しており、補助もある
 - 医療連携が進んでいる
- 高齢者が元気である
- 障害者センター、福祉プラザがある
- ふれあいの居場所が多い
- 高齢者・障害者へのサポートが手厚い

弱み・課題

地域の高齢化への対応

- 市民病院の救急受入体制が不十分である
 - 救急車の受け入れ病院が少ない
 - 夜間外来がやや不便
- 地域の高齢化が進んでいる
- 高齢者・障害者への補助にもう少し力を入れてほしい
- 高齢者へのデジタル教育が進んでいない
- 福祉等の支援を受けることにハードルがある

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

第1ラウンドで出された意見

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

< 産業・観光・文化分野 >

強み・魅力

豊富な文化資源

- 企業や工場が多い
- 商業施設が多い
 - ショッピングモール（スマーク）があり、活気がある
 - 本町商店街が頑張っている
- 畑が多く、野菜が安い
- 駅前公園等でのイベントが盛んである
- 文化財や伝統文化が豊富にある
 - 伊勢崎銘仙、絹産業、伊勢崎もんじゃ、いせさき百人神輿など
 - 世界遺産（田島弥平旧宅）等の史跡

弱み・課題

文化資源の継承・有効活用

- 魅力のある企業が少ない
- 平日のまちなかがガラガラで寂しい
- 農業の後継者が少なく、耕作放棄地が多い
- 文化遺産や伝統を有効活用できていない
 - 伝統文化を次世代に継承する機会が少ない
 - 伝統工芸の産業化ができていない
 - 伊勢崎銘仙の良さが伝わっていない
 - 遺産・史跡等の観光スポットへのアクセスが悪い
 - 観光地やイベントに関する情報発信が不足している

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

第1ラウンドで出された意見

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

<まちづくり分野>

強み・魅力

豊富な自然と交通アクセスの両立

- 公園や川など遊び場が多く、管理もされている
- 街路樹が多く、緑にあふれている
- 道路が整備されている
- 新しい住宅がたくさん建っている（家を建てやすい）
- 市外へのアクセスが良い
 - 鉄道（JR両毛線、東武線）がある
 - 本庄早稻田駅など新幹線駅が近い
 - バスタ新宿への直行バスがある
 - 車移動が便利である
 - 群馬県北部観光の経由地になっている

弱み・課題

鉄道・バスの交通が不便

- 車が無いと移動が不便であり、生活しづらい
- 電車の本数が少なく、乗り換えがしづらい
- バスの本数が少なく、高齢者の移動手段が少ない
- バスの運行範囲が狭い
- 自転車道が整備されていない
- 細い道や歩道のない道などが多く、事故が起きやすい
- 空き家が多い
- 駅周辺の開発に関する市の方針が分からない

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

第1ラウンドで出された意見

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

< 安心・安全分野 >

強み・魅力

災害に強いまち

- 大規模災害が起こりにくい地形・気候である
 - 災害が少ない
 - 崩れる山が無い（平坦な地形をしている）
 - 津波が来ない
- 避難場所が多い
- 防災教室や防災訓練が実施されている
- ハザードマップを作成している
- 街灯が多い
- 警察の巡回が多く、安心して生活できる

弱み・課題

交通安全に向けた取組の不足

- 災害に対する備えが弱い
 - 市民の防災意識が低い
 - 避難所が川の近くにあり氾濫や洪水に弱い
 - 猛暑への対策が不足している
- 避難時の要支援者の移動手段が少ない
- 交通事故が多く、特に自転車事故が多い
- 交通ルールを守らない人が多い
- 交通安全の教育が少ない
- 見通しの悪い交差点が多い

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

第1ラウンドで出された意見

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

<環境分野>

強み・魅力

自然が豊か、環境への意識

- 緑のある公園や川遊びができる
- 桜がたくさんあり、リラックスできる
- 空気や水がきれい
- 放置されたごみを片付けてくれる人がある
- 伊勢崎市がSDGsに対して積極的である

弱み・課題

ごみ問題

- ごみ出しのルールを守らない人が多い
 - 指定日・指定時間外に出してカラスに荒らされている
 - ごみの分別があまりできていない
- 資源回収後の処理が不透明である
 - 他市よりごみの分別がゆるい
- 1人当たりのごみの量が群馬県の中では比較的多い

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-2. 第1ラウンドで出された意見

第1ラウンドで出された意見

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

< 共生・共創・行財政分野 >

強み・魅力

外国人の受け入れ

- 外国人人口が増えている
- 外国人が多く、外国の文化に触れやすい
- 外国籍学生への勉強サポートが充実している
- 公園などの施設が多言語に対応している
- 外国人の雇用に積極的である
- 無料で利用できる施設が多い
- 市役所職員が市民の声に傾聴してくれる
- ICT化やDXが進んでいる（チャットボットなど）
- まちづくりに市民が参画できる

弱み・課題

地域コミュニティに関する課題

- 地域コミュニティが不足している
 - 近所付き合いが少なくなった
 - 大人と子どものコミュニケーションが不足している
 - 地域交流が少なく、繋がりが希薄になった
 - 交流の場所が少ない
- 外国人の増加への対応が追いついていないところがある
- 広報からの情報発信等が不足している
- 伊勢崎市の強みをPRできていない
- デジタル化についていけない高齢者がいる

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

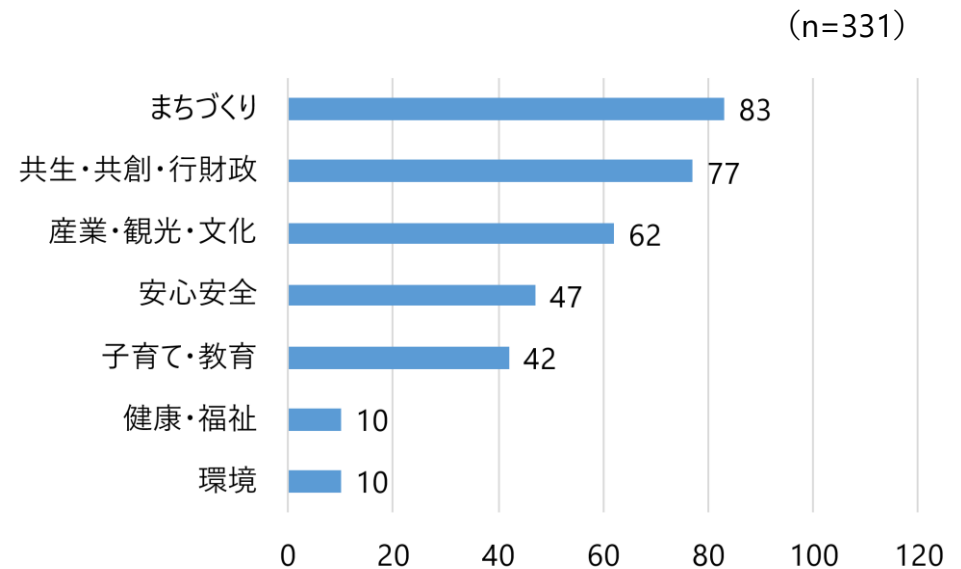
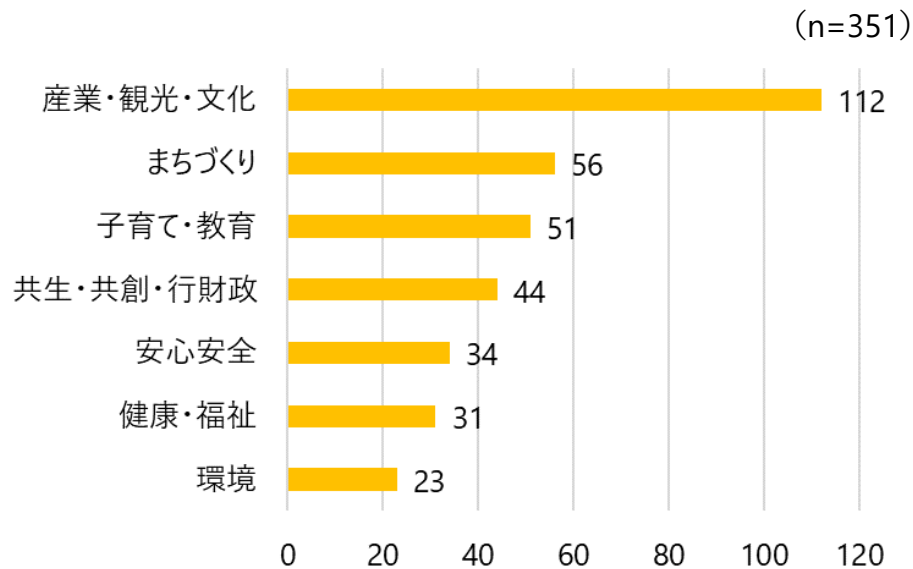
2. 市民意見

2-3. 第1ラウンドの意見の集計

第1ラウンドで出された意見の集計

テーマ：伊勢崎市の強み・魅力、弱み・課題

- 第1ラウンドにおいて参加者から挙げられた意見について、意見分類と同じく、現行計画の施策分野を参考に7項目に分類しました(P10参照)。
- 強み・魅力については、「産業・観光・文化」に該当する意見が112件と最も多く、続いて「まちづくり」が56件、「子育て・教育」が51件と多くの意見が寄せられました。
- 弱み・課題については、「まちづくり」に該当する意見が83件と最も多く、続いて「共生・共創・行財政」が77件、「産業・観光・文化」が62件と多くの意見が寄せられました。

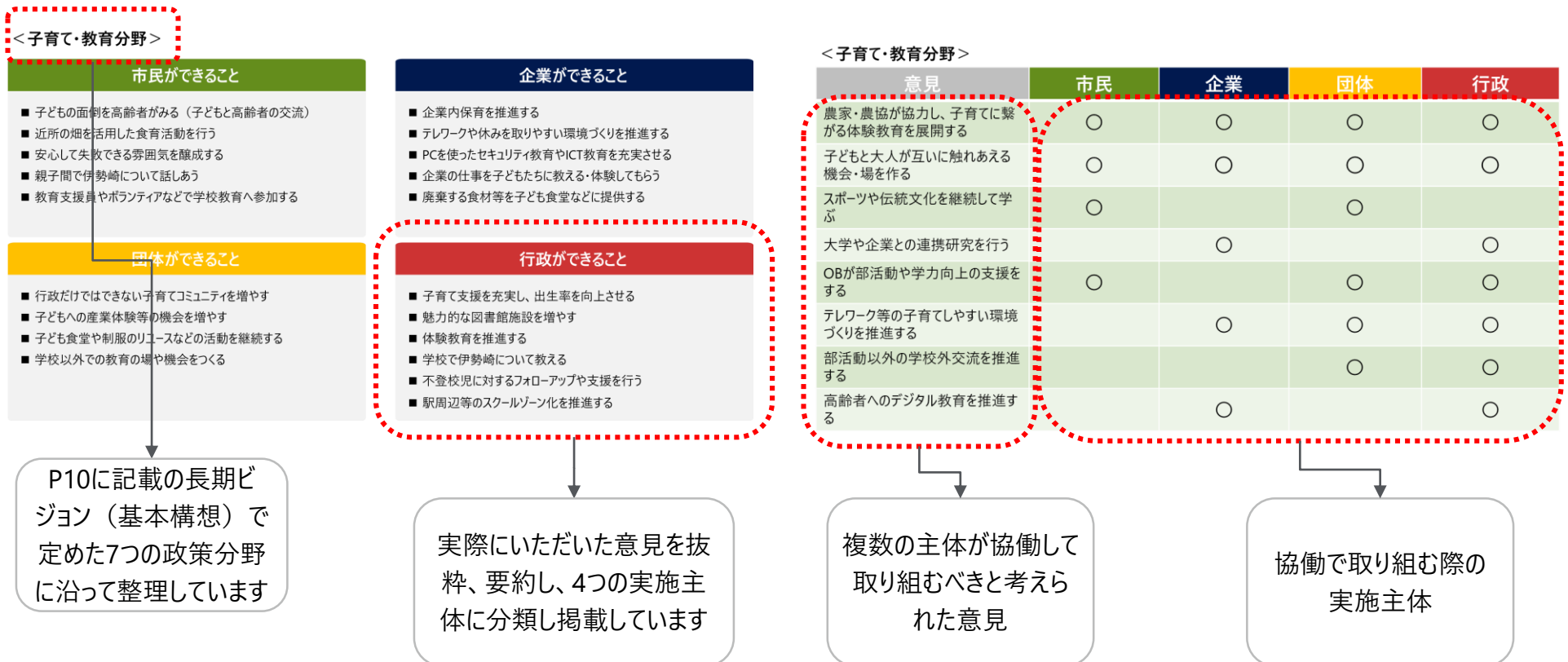


2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

市民意見をまとめたスライドの見方

- 1ページ目には、いただいた意見を4つの実施主体に分けて意見を整理しています
- 2ページ目には、いただいた意見のうち、複数の主体が協働で取り組むべきと考えられた意見を整理しています
- ワークショップにおいては、複数の主体が協働でまちづくりに取り組む必要があるという意見が多くありました



2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

<子育て・教育分野>

市民ができること

- 子どもの面倒を高齢者がみる（子どもと高齢者の交流）
- 近所の畑を活用した食育活動を行う
- 安心して失敗できる雰囲気醸成する
- 親子間で伊勢崎市について話しあう
- 教育支援員やボランティアなどで学校教育へ参加する

企業ができること

- 企業内保育を推進する
- テレワークや休みを取りやすい環境づくりを推進する
- PCを使ったセキュリティ教育やICT教育を充実させる
- 企業の仕事を子どもたちに教える・体験してもらう
- 廃棄する食材等を子ども食堂などに提供する

団体ができること

- 行政だけではできない子育てコミュニティを増やす
- 子どもへの産業体験等の機会を増やす
- 子ども食堂や制服のリユースなどの活動を継続する
- 学校以外での教育の場や機会をつくる

行政ができること

- 子育て支援を充実し、出生率を向上させる
- 魅力的な図書館施設を増やす
- 体験教育を推進する
- 学校で伊勢崎市について教える
- 不登校児に対するフォローアップや支援を行う
- 駅周辺等のスクールゾーン化を推進する

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

<子育て・教育分野>

意見	市民	企業	団体	行政
農家・農協が協力し、子育てに繋がる体験教育を展開する	○	○	○	○
子どもと大人が互いに触れあえる機会・場を作る	○	○	○	○
テレワーク等の子育てしやすい環境づくりを推進する		○	○	○
大学や企業との連携研究を行う		○		○
OBが部活動や学力向上の支援をする	○		○	○
部活動以外の学校外交流を推進する			○	○
スポーツや伝統文化を継続して学ぶ	○		○	
高齢者へのデジタル教育を推進する		○		○

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 健康・福祉分野 >

市民ができること

- 障害者への理解を深める
- 一人暮らしの高齢者を把握し、身近な立場として支援する
- ボランティア活動等に積極的に参加する

企業ができること

- 専門性の高い医療や医療連携を推進する
- 高齢者がデジタル環境に親しみやすい教室を開催する
- 企業のバリアフリーを推進する
- 電動車いす等を大規模店舗に配置する

団体ができること

- 近所の人が高齢者へ向けてスマホの使い方などを指導する
- バリアフリーマップを作成する

行政ができること

- 夜間対応できる病院を増やす
- 病院の相談窓口を増やす
- 介護施設と保育園が連携し、世代間交流を推進する
- 公共施設のリフォーム等により、バリアフリーを推進する
- 車いすや自転車が利用しやすい道路を整備する

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

<健康・福祉分野>

意見	市民	企業	団体	行政
健康に繋がる大人・子どもの交流を増やす	○	○	○	○
ジムを市で運営する		○		○
東京福祉大学の学生と連携した施策を展開する		○		○
障害者もしっかり働ける環境を作る		○		○
多目的トイレを設置する		○		○
高齢者の一人暮らしを把握し、適切な支援を行う	○			○
高齢者にとって有意義な活動を積極的 にもらえる機会・場を作る		○		○

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 産業・観光・文化分野 >

市民ができること

- 伊勢崎市の文化に興味を持ち、地元愛を持つ
- 伊勢崎市の名物の食べ物を食べてみる
- SNS等で伊勢崎市の魅力をアピールする
- 史跡や伝統を観光客に案内する
- 伊勢崎市の食品を使った新たな伊勢崎名物を考える

企業ができること

- 働く場所や働き方など、雇用の充実を実現する
- 従業員の給料アップや働き方改革を推進する
- 地元企業の説明会を増やす
- 伊勢崎駅周辺を活性化する
- 伊勢崎市とコラボした商品を展開する
- 伊勢崎市の産業をアピールする

団体ができること

- 映画のロケ地ツアーを開催する
- eスポーツを通じた交流会を開催する
- 回覧板などにお店やスポットの紹介記事を載せる
- 絹織物と異文化の織物をコラボした商品を作る

行政ができること

- 市主催の工場見学ツアーを実施する
- 公共交通機関の見直しを行う
- 電動バス等を活用した観光巡りを作る
- ライドシェアを展開する
- 伊勢崎市の観光資源を考えた街並み、景観づくりを進める
- オートレース場を有効活用する

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 産業・観光・文化分野 >

意見	市民	企業	団体	行政
地元企業と連携した産業研究を充実させる		○		○
若者向けのイベントを開催する	○			○
企業誘致を推進する		○		○
市の歴史や文化を学ぶ場を作る	○	○	○	○
歴史紹介をかねた散策マップを作る	○	○	○	○

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

<まちづくり分野>

市民ができること

- 公園を積極的に利用する
- 市外の大学に行った学生も伊勢崎市のまちづくりに参加する
- 空き家を放置せずに、有効活用する
- バスに頼らず、積極的に自転車で移動する
- まちづくりのイベントに参加する

企業ができること

- 駅周辺に誰でも集える店舗を出店する
- ライドシェアを充実させる
- 市外の学生に来てもらうための企画をする
- 空き家を活用したカフェなどを出店する
- 定年後の非正規雇用によるバスの運転手を確保する

団体ができること

- 空き家をコミュニティの場として活用する
- 気軽に集まれる場所を作る
- 地域のハブとしての機能を持った場を作る
- イベント周知について、主催者がポスティングや掲示をする

行政ができること

- 鉄道やバスを充実させる
- バス以外の交通手段を確立し、車がなくても移動できるようにする
- 無料で誰でも使えるフリースペースを設置する
- 駅前のインフォメーションセンターを活用する
- 空き家の利用・保護・管理を行う
- サイクリングロードを整備する

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

<まちづくり分野>

意見	市民	企業	団体	行政
無料で誰もが使えるフリースペースを設置し、利用する	○			○
空き家を有効活用する		○	○	○
利用されていない畑を市が家庭菜園として貸し出す	○			○
住民間での情報共有を積極的に行う	○			○

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 安心・安全分野 >

市民ができること

- 各地区の防災訓練に参加する
- 防災マップをよく見ておく
- 交通安全意識を向上させ、交通ルール・マナーを守る

企業ができること

- 災害時の交通整備に協力する
- 災害時の協力を積極的に行う

団体ができること

- 防災訓練の実施回数を増やす（避難場所の徹底）
- 交通安全教室を実施する

行政ができること

- 地区ごとに防災訓練を実施する
- 交通安全に向けて信号機やオービス等の設置などを行う
- 街灯を増やす
- 学校前の道路の拡幅を実施する

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 安心・安全分野 >

意見	市民	企業	団体	行政
災害時における交通整備を行う		○		○
伊勢崎市の状況にあった防災教室を公民館で実施する		○	○	○
防災意識を高める	○		○	○
地区ごとに防災訓練を実施する	○			○
伊勢崎市の災害シミュレーション（映画）を作成し・観る	○		○	○
過去に伊勢崎市であった水害の振り返りを行う	○		○	○

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

<環境分野>

市民ができること

- 食品ロスを減らす
- ごみの分別をする
- リサイクルを心掛ける
- 車移動を減らす、エコドライブを心掛ける
- 害虫・害獣被害を伊勢崎市に報告する

企業ができること

- 食品ロスとならないように協力する
- リサイクルスポットを増やす
- 再生可能エネルギーを創出する
- 何度でもリサイクル可能な物質づくりを推進する
- 太陽光発電等のイベントを開催する
- 企業内での緑化運動を推進する

団体ができること

- 畑の野菜を無駄にしないための取組を行う
- 河川敷の清掃を行う
- ごみ問題に関するワークショップを開催する
- 転入者（特に外国人）にごみ処理のルール等を説明する

行政ができること

- ごみを減らすための工夫・取組を行う
- 多言語でごみ処理のルール等を案内する
- 公園の管理を徹底する
- 定期的に草木をチェックする
- SDGsの視点を持った施策展開を行う
- 環境問題に関する取組の方針を明確にする

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2－4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 環境分野 >

環境分野においては、複数の主体が協働で取り組むべき意見はありませんでした

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 共生・共創・行財政分野 >

市民ができること

- 近隣の人と助け合い・声かけをする
- 世代間や地域での交流の場・機会を作る
- 外国人とも積極的に交流する
- 自治会やイベント、ボランティアなどに積極的に参加する
- 市の広報をよく見て、伊勢崎市のことをよく知る・学ぶ
- 伊勢崎市の良さをSNS等で発信する

企業ができること

- 多言語対応のための翻訳機等を導入する
- 伊勢崎市のPRをもっと行う
- イベントの際にもっと告知する
- 団体への寄付を行う
- ボランティアのマッチングを企業が主導で行う
- 外国人向けの企業説明会を行う

団体ができること

- 子ども食堂を増やす
- 公園等を利用し、コミュニケーションを活発にする
- 自治会に外国人も参加してもらうなど、活動を活発にする
- サラリーマンでも活動しやすい内容の活動をする
- 異文化交流の場・機会を増やす
- 現場の声を集めて行政に出す

行政ができること

- 世代間交流の場所を作る
- 外国人にとって生活しやすいまちづくりを行う
- SNSやサイネージなどを活用し、情報伝達の手段を増やす
- 公民館でスマホ教室を開催する
- デジタル化を推進する
- ワークショップを継続的に実施し、市民の声に傾聴する

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

2. 市民意見

2-4. 第2,3ラウンドで出された意見

第2,3ラウンドで出された意見

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

< 共生・共創・行財政分野 >

意見	市民	企業	団体	行政
世代間や地域の交流の場所づくり	○		○	○
伊勢崎市の企業と行政の交流・協働		○		○
外国文化について学ぶ機会を作る	○			○
定期的にワークショップを開催する			○	○
学生ボランティアを募集し、参加する	○			○
企業が地域貢献する		○		○
インターネット教室を開く		○		○
SDGsを推進する		○		○
イベントの告知を積極的に行う		○	○	○
積極的に情報発信する	○	○	○	○

※当日出された意見を抜粋・要約の上、記載しております。

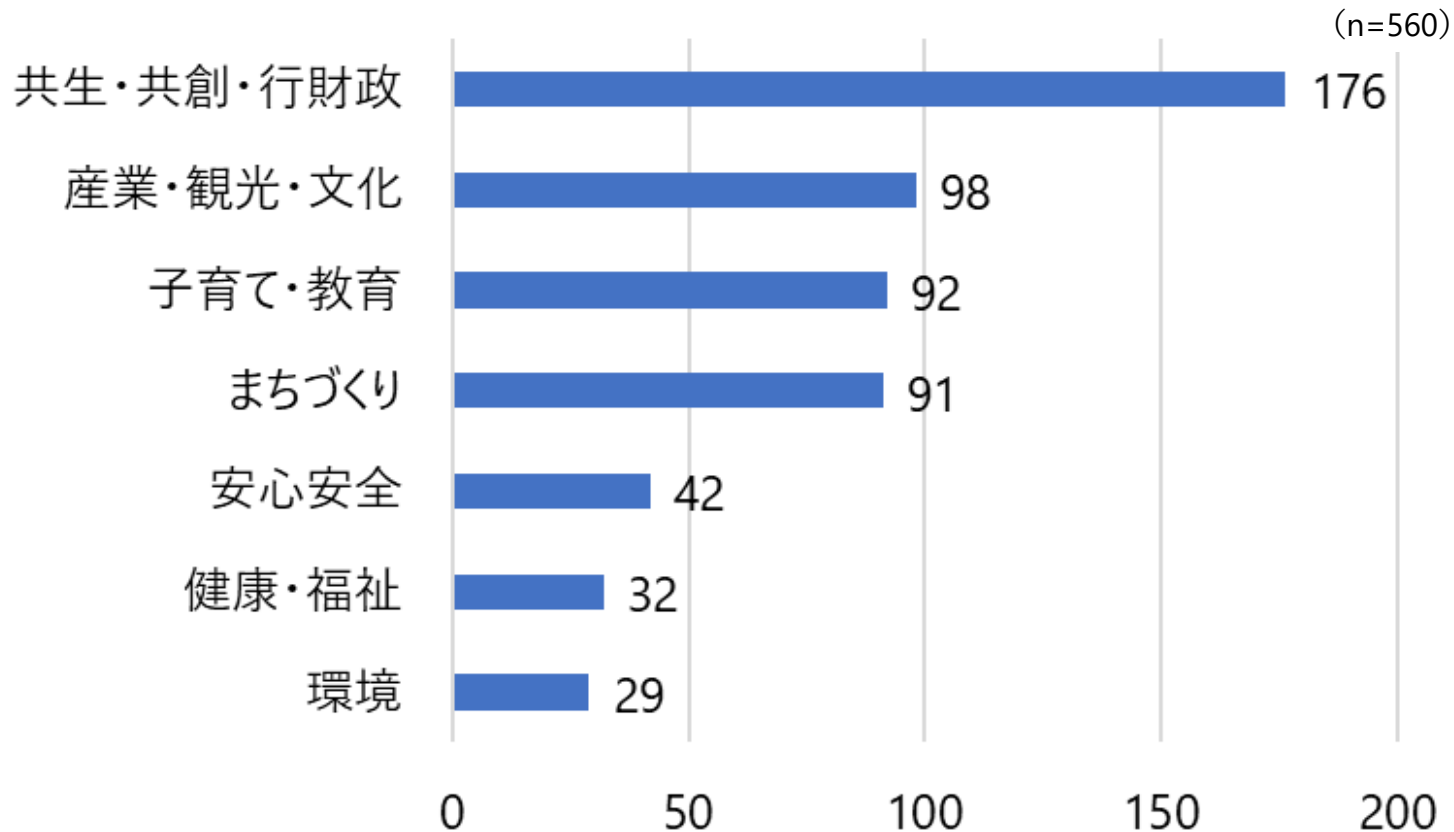
2. 市民意見

2-5. 第2ラウンドの意見の集計

第2,3ラウンドで出された意見の集計

テーマ：理想の伊勢崎市のためにできること、理想の伊勢崎市のための「それぞれの役割」

- 第2,3ラウンドにおいて参加者から挙げられた意見について、意見分類と同じく、現行計画の施策分野を参考に7項目に分類しました(P10参照)。
- 「共生・共創・行財政」に該当する意見が176件と最も多く、続いて「産業・観光・文化」が98件、「子育て・教育」が92件と多くの意見が寄せられました。



3. 参加者アンケートの結果

※アンケートへの回答割合は各項目の小数第2位を四捨五入しており、
合計が100%にならないことがあります

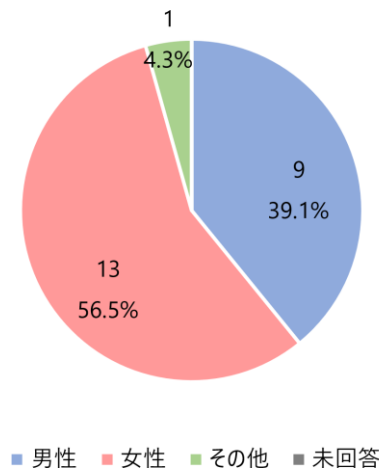
3. 参加者アンケートの結果

3-1. 第1回

参加者23名の方からアンケートに回答いただきました。

性別

- アンケートを記入いただいた23名のうち、性別の内訳は男性が9名で39.1%、女性が13名で56.5%、その他が1名で4.3%でした。

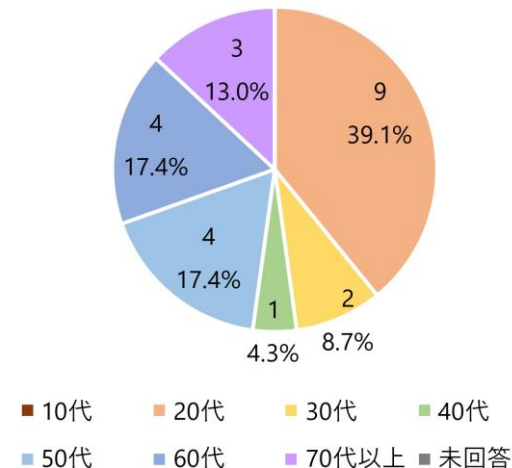


■ 性別ごとの回答者数（人数）

男性	女性	その他	未回答
9	13	1	0

年代

- 年代の内訳については20代が最も多く9名で39.1%、続いて60代、70代以上が多く4名で17.4%でした。



■ 年齢ごとの回答者数（人数）

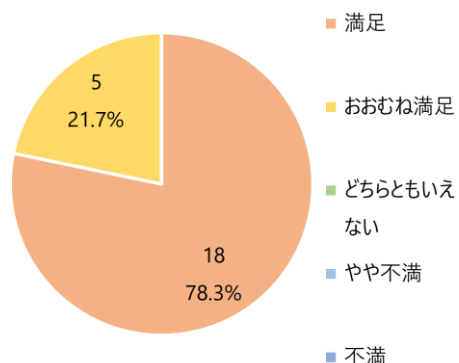
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	未回答
0	9	2	1	4	4	3	0

3. 参加者アンケートの結果

3-1. 第1回

本日のワークショップは満足いただけましたか？

- 「満足」、「おおむね満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5択でアンケートを実施しました。
- 「満足」が最も多く18件で78.3%となりました。



■ 各満足度別の人数

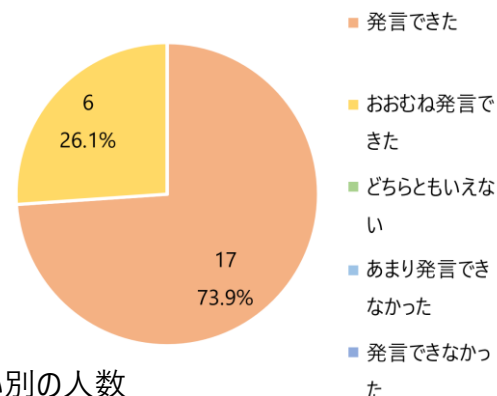
満足	おおむね満足	どちらともいえない	やや不満	不満
18	5	0	0	0

■ 主な意見

- ・ いろんな方の意見を聞けて勉強になった
- ・ 様々な世代の方と意見交換出来て良かった
- ・ 子育てに関わっており、感じたことを伝えられた

本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？

- 「発言できた」、「おおむね発言できた」、「どちらともいえない」、「あまり発言できなかった」、「発言できなかった」の5択でアンケートを実施しました。
- 「発言できた」が最も多く17件で73.9%、続いて「おおむね発言できた」が6件で26.1%となりました。



■ 各発言度合い別の人数

発言できた	おおむね発言できた	どちらともいえない	あまり発言できなかった	発言できなかった
17	6	0	0	0

■ 主な意見

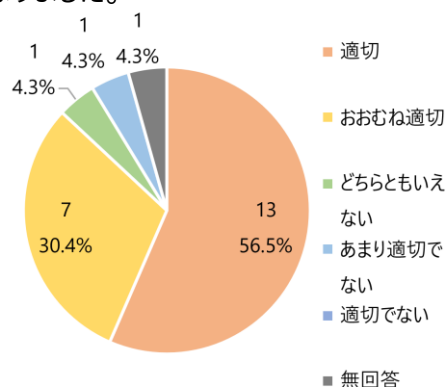
- ・ 互いの意見を尊重しながら自分の意見を言えた
- ・ 自分の意見を他の人が受け入れてくれた
- ・ 各回じっくりと発言する時間がとられていた

3. 参加者アンケートの結果

3-1. 第1回

本日のワークショップの所要時間は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く13件で56.5%、続いて「おおむね適切」が7件で30.4%となりました。



■ テーマに対する満足度別の人数

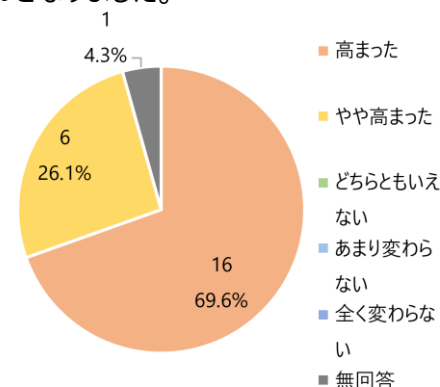
適切	おおむね適切	どちらともいえない	あまり適切でない	適切でない	無回答
13	7	1	1	0	1

■ 主な意見

- ・ 長かったが、もっと話したかった
- ・ グループ全員が平等に話し合える適切な時間だった
- ・ 話をまとめる時間がもう少し欲しかった
- ・ もう少し時間が欲しい。ゆっくりと話したかった

伊勢崎市のまちづくりに対する関心は高まりましたか？

- 「高まった」、「やや高まった」、「どちらともいえない」、「あまり変わらない」、「全く変わらない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「高まった」が最も多く16件で69.6%、続いて「やや高まった」が6件で26.1%となりました。



■ まちづくりに対する関心度別の人数

高まった	やや高まった	どちらともいえない	あまり変わらない	全く変わらない	無回答
16	6	0	0	0	1

■ 主な意見

- ・ 「何が伊勢崎市にとって良いのか？」を考えるいい機会になった
- ・ 去年度のワークショップから参加したかった
- ・ 自分の分野以外の意見もたくさん聞けた

3. 参加者アンケートの結果

3-1. 第1回

本日のワークショップの中で、気づいたことや感じたこと、市に対する意見・提案があればお聞かせください。

- 幅広い年代、色々な人と意見を交えられ、良かったといった意見を多くいただきました。
- 総合計画策定にあたり、市民参画の機会として有意義であり、今後も続けて実施してほしいといった意見も多くいただきました。
- また、子育て・教育分野や福祉分野に関する個別・具体的な提案・意見もいただきました。

【自由記述欄に寄せられた意見（気づいたこと・感じたこと）※一部抜粋】

・ 市長が自分の言葉で話されたのが良かった ・ 参加者が良い人ばかりで助かりました ・ 自分が何をできるか考えたい	・ 意見を発言しやすい環境のディスカッションで、意見交換することがとても面白く、伊勢崎市について学ぶことも多かった
・ ささまざまな視点からのお話や意見を聞くことができたため、とても楽しかった。今回の意見をまとめていく中で、情報共有や情報発信がとても重要だと感じた	・ 市からの積極的なアプローチや情報提供をしてもらえるとこちらも声をあげやすくなるんじゃないかと思った ・ 今回に限らず定期的に続けてもらいたい
・ 総合計画が完成した後でも、中間市民ワークショップを行って欲しい ・ このワークショップの結果が、計画にどのように反映されたのか、まとめて、公開してほしい	・ 高齢者の交通手段を福祉的にもっと情報を与えて、使用しやすくすることが必要では？と感じた（また、デジタル環境への手助けの必要性） ・ コミュニティの交流をもっと強くすることが必要であると感じた
・ 子育て、教育分野で意見が挙がるが多く、今後の伊勢崎市の取組が重要になると感じた	・ 将来の伊勢崎市のために、皆で良い伊勢崎市を作れるという機会をいただいた ・ 市民のつながりも、こうしたリアルなつながりが持てたことに感謝したい
・ 多様な価値観、視点を持った方々と意見を交わし、交流することができて、とても充実した時間を過ごすことができた	・ 自分のまだまだ知らない伊勢崎のことを世代間交流をしながら得られたので良かった

※ アンケートにご記載いただいた内容を抜粋・要約の上、掲載しています。

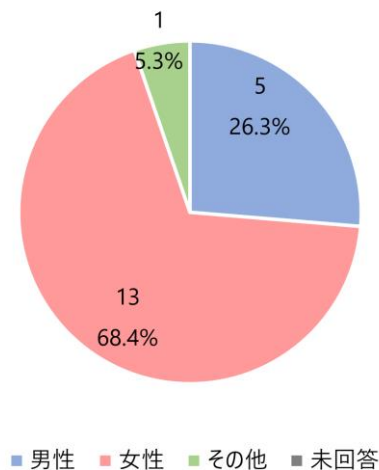
3. 参加者アンケートの結果

3 - 2. 第2回

参加者19名の方からアンケートに回答いただきました。

性別

- アンケートを記入いただいた23名のうち、性別の内訳は男性が5名で26.3%、女性が13名で68.4%、その他が1名で5.3%でした。

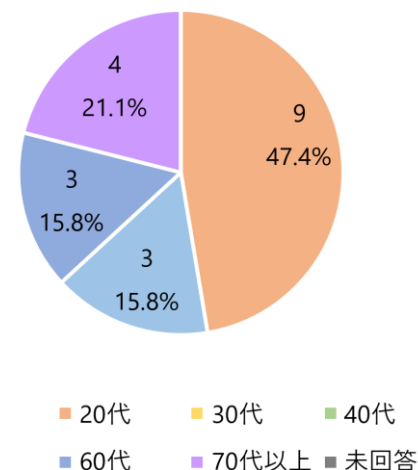


■ 性別ごとの回答者数（人数）

男性	女性	その他	未回答
5	13	1	0

年代

- 年代の内訳については20代が最も多く9名で47.4%、続いて70代以上が多く4名で21.1%でした。



■ 年齢ごとの回答者数（人数）

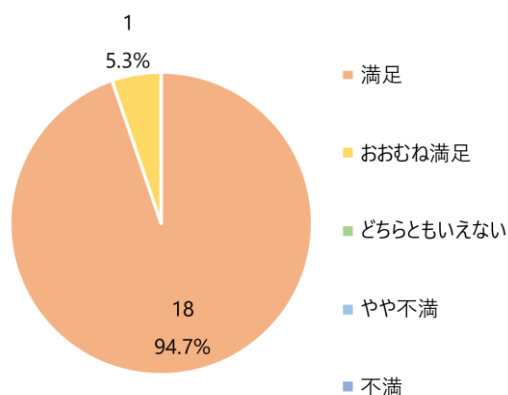
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	未回答
0	9	0	0	3	3	4	0

3. 参加者アンケートの結果

3 - 2. 第2回

本日のワークショップは満足いただけましたか？

- 「満足」、「おおむね満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5択でアンケートを実施しました。
- 「満足」が最も多く18件で94.7%となりました。



■ 各満足度別の人数

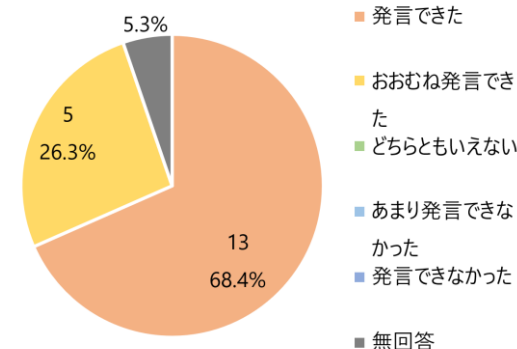
満足	おおむね満足	どちらともいえない	やや不満	不満
18	1	0	0	0

■ 主な意見

- ・ じっくりと話し合えた
- ・ 伊勢崎についての理解を深められた
- ・ 前回のグループと違って刺激的だった

本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？

- 「発言できた」、「おおむね発言できた」、「どちらともいえない」、「あまり発言できなかった」、「発言できなかった」の5択でアンケートを実施しました。
- 「発言できた」が最も多く13件で68.4%、続いて「おおむね発言できた」が5件で26.3%となりました。



■ 各発言度合い別の人数

発言できた	おおむね発言できた	どちらともいえない	あまり発言できなかった	発言できなかった	無回答
13	5	0	0	0	1

■ 主な意見

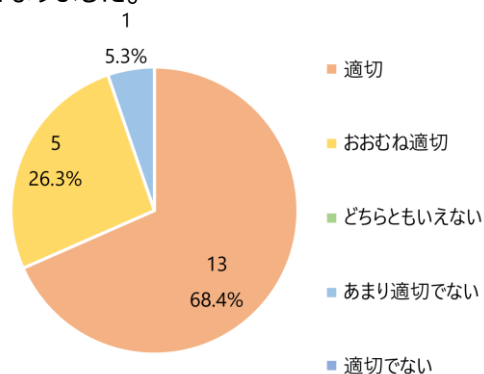
- ・ 全員が平等に意見を言えた
- ・ 自分の意見を周囲が受け入れてくれる環境だった
- ・ もう少し自分の意見を発言すればよかった

3. 参加者アンケートの結果

3-2. 第2回

本日のワークショップの所要時間は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く13件で68.4%、続いて「おおむね適切」が5件で26.3%となりました。



■ テーマに対する満足度別の人数

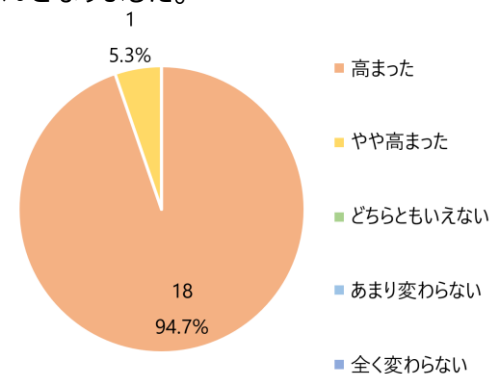
適切	おおむね適切	どちらともいえない	あまり適切でない	適切でない
13	5	0	1	0

■ 主な意見

- ・ テーマについて十分に話し合えた
- ・ 時間いっぱい話し合うことができた
- ・ もっと長い時間意見交換したかった
- ・ とても短かった。もっと話して、他の方の意見を聞きたかった

伊勢崎市のまちづくりに対する関心は高まりましたか？

- 「高まった」、「やや高まった」、「どちらともいえない」、「あまり変わらない」、「全く変わらない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「高まった」が最も多く18件で94.7%、続いて「やや高まった」が1件で5.3%となりました。



■ まちづくりに対する関心度別の人数

高まった	やや高まった	どちらともいえない	あまり変わらない	全く変わらない
18	1	0	0	0

■ 主な意見

- ・ 考える機会がないとなかなか考えないのでいい機会だった
- ・ 自分たちで作り上げるという意識が高まった
- ・ 考える機会を得たことで課題に気づくことができた
- ・ まだまだやるべきことが見つかった

3. 参加者アンケートの結果

3-2. 第2回

本日のワークショップの中で、気づいたことや感じたこと、市に対する意見・提案があればお聞かせください。

- ワークショップによって伊勢崎市の新しい強み・弱みを学び、今後の伊勢崎市について考えるいい機会になったという意見を多くいただきました。
- ワークショップを重ねるごとに新しい視点や考えを知ることができるという意見もいただきました。

【自由記述欄に寄せられた意見（気づいたこと・感じたこと）※一部抜粋】

- 今回のテーマは街の要、これからの市民が安全安心で暮らせることは最重要だと思う - その上での行政サービス向上なので、今回のディスカッションはとても重要だと思った - ワークショップを通して、市民の中に当事者意識が生まれるのが良いと思う	- 様々な視点からの意見やより具体的な解決策などを発表、共有、深掘りすることができて、とても有意義な時間だった。 - グループワークの中では高齢者のサポートについての議論がはずんだが、若者についても議論してみたいと思った
このようなワークショップを2～3か月ごとに開催すると伊勢崎市のためにとても良いと思った	- 今回の討論の中で、ワークショップをやる場があっても、そこに集まろうという人がなかなかいないことが問題に出た - 集まる人数を増やすために、意識の向上、利害関係を一致させる必要があると思う
- 同年代、人生の先輩方の話を聞き、伊勢崎市についての理解をさらに深めることができた - 新たに知ることが多く、とても楽しい会話を行えたので、今後も多世代の方と会話できる機会がほしい	- さまざまな意見を聞くことができて、とても面白かった - 自分の知らなかった伊勢崎市を知ることができた - 交通関係の問題・課題が多く、車社会というのが大きく関係しているのだと感じ、私たちの意見が反映されると良いと思った
自分自身では見ることができない市内の良さや課題を知ったり、共有することができ、今後の自分の勉強、学習のための励みになった	- まちの安全や、考えていることを共有することができておもしろかった - 弱みを見つけることが“ぼやき”ではなく、「なにかできるかも」という可能性につながった
若い人と高齢者のつながりをつくるための仕組みが必要だと思う	ワークショップに参加する度、新たな視野が増え、このワークショップがとても有意義なものであると感じている

※ アンケートにご記載いただいた内容を抜粋・要約の上、掲載しています。

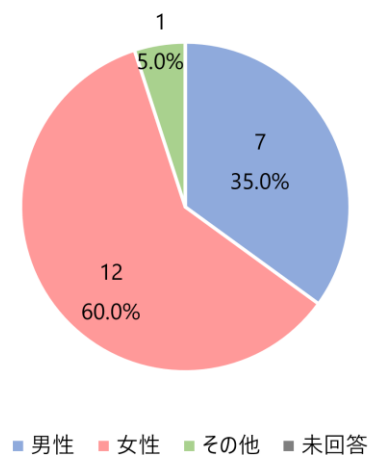
3. 参加者アンケートの結果

3 - 3. 第3回

参加者20名の方からアンケートに回答いただきました。

性別

- アンケートを記入いただいた20名のうち、性別の内訳は男性が7名で35.0%、女性が12名で60.0%、その他が1名で5.0%でした。

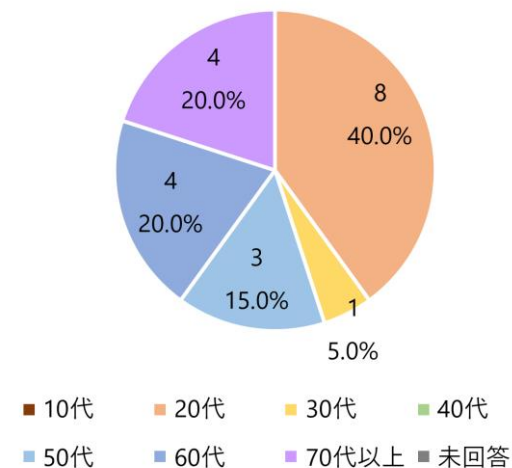


■ 性別ごとの回答者数（人数）

男性	女性	その他	未回答
7	12	1	0

年代

- 年代の内訳については20代が最も多く8名で40.0%、続いて60代、70代以上が多く4名で20.0%でした。



■ 年齢ごとの回答者数（人数）

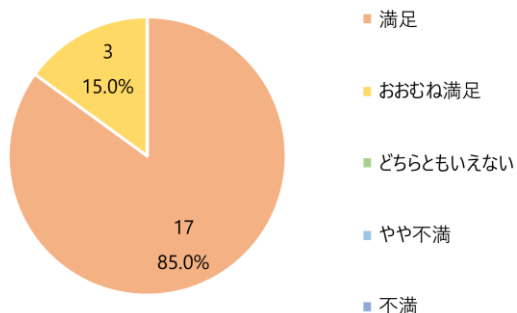
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	未回答
0	8	1	0	3	4	4	0

3. 参加者アンケートの結果

3 - 3. 第3回

本日のワークショップは満足いただけましたか？

- 「満足」、「おおむね満足」、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」の5択でアンケートを実施しました。
- 「満足」が最も多く17件で85.0%となりました。



■ 各満足度別の人数

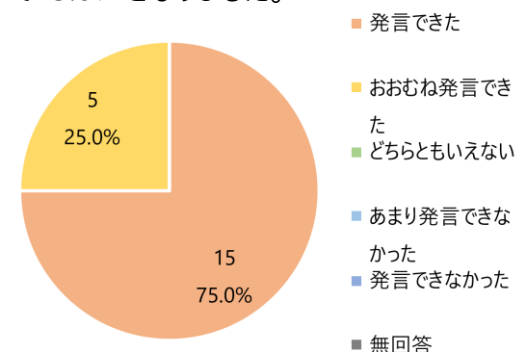
満足	おおむね満足	どちらともいえない	やや不満	不満
17	3	0	0	0

■ 主な意見

- ・ たくさん意見交換できた
- ・ 意見交換を通じてたくさん勉強ができた
- ・ 様々な意見を聞けて刺激的だった

本日のワークショップでは、ご自分の意見を十分に発言できましたか？

- 「発言できた」、「おおむね発言できた」、「どちらともいえない」、「あまり発言できなかった」、「発言できなかった」の5択でアンケートを実施しました。
- 「発言できた」が最も多く15件で75.0%、続いて「おおむね発言できた」が5件で25.0%となりました。



■ 各発言度合い別の人数

発言できた	おおむね発言できた	どちらともいえない	あまり発言できなかった	発言できなかった
15	5	0	0	0

■ 主な意見

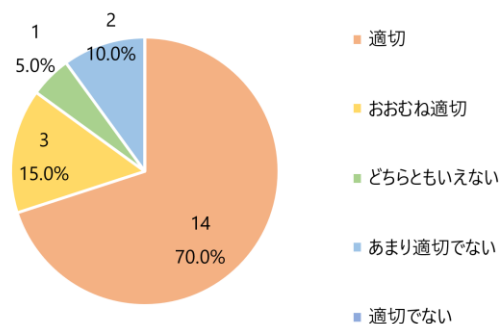
- ・ 考えをたくさん意見することができた
- ・ 考えを発表出来た
- ・ 皆が意見を聞く＆話す姿勢でよかった

3. 参加者アンケートの結果

3-3. 第3回

本日のワークショップの所要時間は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く14件で70.0%、続いて「おおむね適切」が3件で15.0%となりました。



■ テーマに対する満足度別の人数

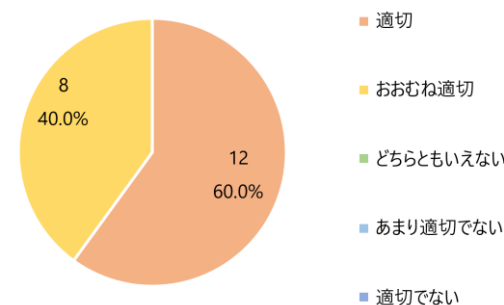
適切	おおむね適切	どちらともいえない	あまり適切でない	適切でない
14	3	1	2	0

■ 主な意見

- ・ 意見交換するのに十分な時間だった
- ・ これ以上の時間だと飽きると思う
- ・ 時間どおりに進められた
- ・ もう少し時間が欲しい

ワークショップのテーマ設定は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く12件で60.0%、続いて「おおむね適切」が8件で40.0%となりました。



■ まちづくりに対する関心度別の人数

適切	おおむね適切	どちらともいえない	あまり適切でない	適切でない
12	8	0	0	0

■ 主な意見

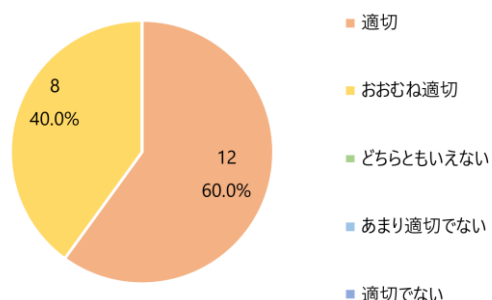
- ・ トークテーマが3回に分かれていて話しやすかった
- ・ 今後重要なことについて考えられた
- ・ 範囲が広いと思った
- ・ 行財政については話しにくいと思った

3. 参加者アンケートの結果

3-3. 第3回

ワークショップの開催日時は適切だったと思いますか？

- 「適切」、「おおむね適切」、「どちらともいえない」、「あまり適切でない」、「適切でない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「適切」が最も多く12件で60.0%、続いて「おおむね適切」が8件で40.0%となりました。



■ テーマに対する満足度別の人数

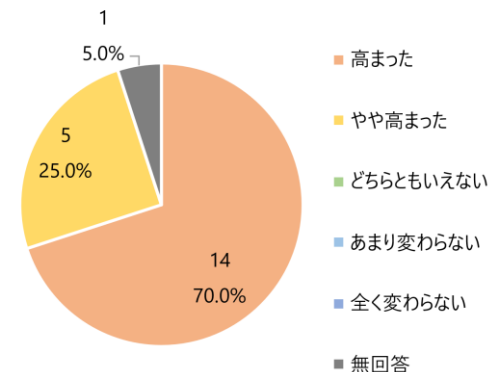
適切	おおむね適切	どちらともいえない	あまり適切でない	適切でない
12	8	0	0	0

■ 主な意見

- ・ 誰でも参加できる日時だと思う
- ・ 午後だったので参加しやすかった
- ・ 1週間おきで開催されたので考える時間があった

伊勢崎市のまちづくりに対する関心は高まりましたか？

- 「高まった」、「やや高まった」、「どちらともいえない」、「あまり変わらない」、「全く変わらない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「高まった」が最も多く14件で70.0%、続いて「やや高まった」が5件で25.0%となりました。



■ まちづくりに対する関心度別の人数

高まった	やや高まった	どちらともいえない	あまり変わらない	全く変わらない	無回答
14	5	0	0	0	1

■ 主な意見

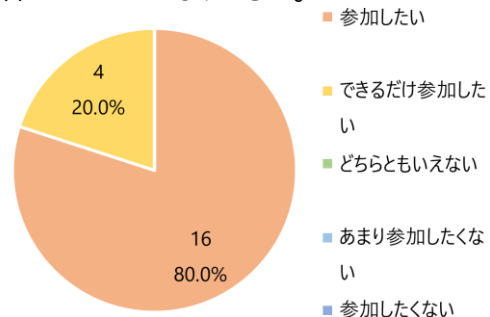
- ・ 歴史をもっと知りたいと思った
- ・ これからの伊勢崎市について知りたいと思った
- ・ これからもこのような活動に参加したい
- ・ いろいろな話を聞いた

3. 参加者アンケートの結果

3 - 3. 第3回

こうした機会があれば また参加したいと思いますか？

- 「参加したい」、「できるだけ参加したい」、「どちらともいえない」、「あまり参加したくない」、「参加したくない」の5択でアンケートを実施しました。
- 「参加したい」が最も多く16件で80.0%、続いて「出来るだけ参加したい」が4件で20.0%となりました。



■ テーマに対する満足度別の人数

参加したい	できるだけ参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	参加したくない
16	4	0	0	0

■ 主な意見

- ・ 市民と交流する機会があれば嬉しい
- ・ 異年齢の方の意見を聞きたい
- ・ 自分の意見とは違う意見を聞くことができ、充実だった
- ・ もっと開催してほしい

3. 参加者アンケートの結果

3-3. 第3回

本日のワークショップの中で、気づいたことや感じたこと、市に対する意見・提案があればお聞かせください。

- 3回全体を通じて幅広い年代、色々な人と意見を交えられ、良かったといった意見を多くいただきました。
- ワークショップは市民参画の機会として有意義であり、今後も続けて実施してほしい、ワークショップ参加者同士でつながりたいという意見もありました。
- 将来の伊勢崎市のことを考え、期待する意見もありました。

【自由記述欄に寄せられた意見（気づいたこと・感じたこと）※一部抜粋】

自分の興味・関心から議論が進むことがあり、意思を発信する大切さを改めて感じる事ができた	市役所と自治会のデジタル化をすすめ、ワークショップのような対面での話し合いや、楽しめるイベントを企画して1人1人の小さな力をまとめてほしい
- いせさきFMをスマホでも聞けるようにしてほしい - 職員がこのようなワークショップを運営できるように今後の経過を報告してほしい	- 一人一人の意見から、いろいろな発想が引き出され、同様の意見、新しい意見と大変（沢山）勉強になった - 楽しい時間を過ごせた
3回の話し合いを通して、伊勢崎についてよく知り、考えることができた	ワークショップ参加者をLINEでつなげるように考えてほしい
オートレースについて、様々なイメージがあり、それをどう変えて活用できるかを考えたことが楽しかった	- 長期ビジョン策定の時のワークショップの結果の情報があるとつながっていてより良かったのではないかと - スタッフから助言をもらったのも意見を出す際に良かった
- このようなワークショップを継続的に続けて欲しい - 杉並区のようにテーマごとの市民ワークショップを都度、実施してはどうか - 文化団体へのお金ではない援助も必要ではないか（広報など） - 図書館の充実をしてほしい	- 将来の子ども達が、同じ伊勢崎を好きになり、再びつながっていく未来が見えてくる様なアクションプランになってほしい - 年代、性別、その背景を異なるメンバーで語り合える、とても良い機会だった

※ アンケートにご記載いただいた内容を抜粋・要約の上、掲載しています。

4. 当日の様子

4. 当日の様子

グループワークの様子

